

2012年8月27日 学習会&座談会

「育てにくい…と感じた瞬間！あなたならどうしますか？」

講師 Tさん

参加者 Aさん Bさん Cさん Dさん Eさん

- T: 育てにくいと感じる背景には、**偏見とか先入観**というキーワードが存在します。これに対し、カナダで行っている**ファミリーサポート**という考え方があって、中学生から、家族の概念や、家族に困難が生じた時の対処法を教わっているのです。うちはこちらけど、あそこはこうだとか、うちが基準になっているのが大半ですよ。これが育てにくさが生まれている要因の一つと考えるのです。みなさんはどうですか？
- C: 私は専業主婦だから、料理くらい自分でと思っているんですが、子どもが友人にご飯を頂いたときに「うちのは出来合いだけど大丈夫？」と言われてしまって、はっとした。相手に手作りじゃないと受け入れられない思わせてしまっていたのかもしれない。
- B: 一人目の時には作らなきゃっていうのはあって、レトルトやだなど思っていたけど、家事が苦手でやっぱりだめで、世の中の手を借りたら楽だった。こだわりが大きい小さいか。**やらない私はダメだ**など思ってしまう。
- D: **子どもができた**とたん周りが気になるのはなぜだろう。いいんじゃないそんなの、というきっかけが無いとずっとそのままですよ。
- A: 一人目のときはそうだったなあ～何も知らないからそれが当たり前で。食べ物とか気をつけていたけど、二人目を育ててみて、だからなんだと思います。二人を育ててみて、私がやってきたことが正しかったのかどうか、うーんと。**基準がわかんない**。
- T: **標準、基準**になってるのが怖いと思う。やりたい人はやればいいし、やりたくない人はやらなくてもいい。
- D: 私は育てばいいと思っていたけど、生まれた瞬間から小さくて、**書いてある育児書から外れちゃったなあ**など思っていました。
- (中略)
- A: 専業主婦に対する先入観ってありますよね。物理的な面、精神的な面の違いはある。自分ができなかった時間、そうできるはずと言う人がいる。
- T: 専業主婦という区分をすること自体が偏見ですよ。だいぶバリエーションができています。**見つけなおし作業が必要ですよ、それぞれのライフサイクルに応じて**。
- D: ライフスタイルの違う相手に自分の生活スタイルを伝えるコミュニケーション能力も必要じゃないかなと思うんです。生活が見えるような伝え方。

考察

初対面の人でも数人いらしたにもかかわらず、話がつきことはなく、リラックスした様子でのぞんでいらした。

母親になるところから、特に一人目では、自分の経験がないため不安で、周りの情報に敏感になり、時には振り回されてしまうことが語られた。それが高じて、偏見を抱いたり、時には知らず知らずのうちに差別を行っている、もしくは受けていることがわかった。

これに対し、どこかで自身を振り返ったり、時にはあきらめたりすることが、大きなプラスの転換期になることも語られた。

このように真摯に話し合うことは、単に友人と話すのではなく、語れたという経験、また聞いてもらったという経験になり、目には見えないが、何かを癒す力があるのではないかと感じた。